

オーラルセッション8 「オープンかつ国際的なマスターズスポーツ大会参加者の消費者行動の研究: 田村匡」資料
「ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021関西について」



1) ワールドマスターズゲームズとは

- 4年に1度、行われる『生涯スポーツの世界最高峰の国際総合競技大会』
- 2017年には第9回大会がニュージーランドのオークランドにおいて開催された。
- 2021年には、アジアで初めて日本・関西において開催される予定。
- 30歳以上であれば、基本的に能力や年齢を問わずに参加可能。元チャンピオンからビギナーまで参加できる。
- 国や地域を背負わない。国の代表ということではなく、個人の資格で出場。
- 男女・年代別(通常5歳ごと)に種目が行われ、各々メダルが授与される。
- マスターズ大会公認記録として正式登録される。
- ワールドマスターズゲームズに向けて、新たに会場を建設することは禁止されているため、新たな会場建設費用は不要。

World Masters Games(WMG)の開催地と大会規模

開催年	開催国	開催都市	参加人数	参加国数	
1985年	第1回	カナダ	トロント	8300	61
1989年	第2回	デンマーク	ヘアニング、オールボー、オーフス	5500	76
1994年	第3回	オーストラリア	ブリスベン	25000	71
1998年	第4回	アメリカ	ポートランド	25000	100
2002年	第5回	オーストラリア	メルボルン	26000	97
2005年	第6回	カナダ	エドモントン	22000	88
2009年	第7回	オーストラリア	シドニー	32000	95
2013年	第8回	イタリア	トリノ	19000	107
2017年	第9回	ニュージーランド	オークランド	29000	106
2021年	第10回	日本	関西	(目標)50000以上	



2) 2017年(第9回)WMGオークランド(ニュージーランド)大会について

- 2017年4月21日から30日開催された(10日間)
<http://www.worldmastersgames2017.co.nz/>
- 陸上、水泳、バドミントン、野球など30競技
- パラリンピアンのための種目も多数実施。
- 登録料は、ブロンズ\$295、ブロンズ\$295(NZ)、シルバー\$365、ゴールド\$825
- 選手25,000人、その他参加者4,000人、ボランティア3,500人。



スフラ

4) 2021年 WMG関西大会の概要

- 2013年トリノ大会に合わせて開催されたIMGA理事会でスポーツコミッション関西等が招致プレゼンし、ほぼ開催が決定した。
- 2013年11月10日、京都の西本願寺において、関西広域連合とIMGAの間で開催地契約書が調印された。
- 2014年12月に、公共団体、経済界、体育協会等からなる組織委員会が設置された。会長は井戸関西広域連合長と森関西経済連合会会長。
- 開催期間は2021年5月14日(金)~30日(日)、17日間を予定。
- コンセプト「スポーツ・フォー・ライフの開花」
- 参加者としては5万人以上、うち2万人は外国選手を目標にしている。
- 競技種目としては、コア必須16競技。アーチェリー、陸上競技、バドミントン、バスケット、カヌー、自転車、ホッケー、サッカー(フットサル)、オリエンテーリング、ボート、射撃、ソフトボール、スカッシュ、卓球、トライアスロン、ウェイトリフティング。
- オプション競技として19競技。野球、水泳、ボウリング、ダンススポーツ、ゴルフ、グラウンドゴルフ、フライングディスク、ゲートボール、ハンドボール、柔道、空手道、テコンドー、ラグビーフットボール、セーリング、テニス、ソフトテニス、綱引、バレーボール、ライフセービング。オープン競技として17競技(スポーツ吹矢、マラソン等)
- 関西各地で開催される。開会式は京都市(岡崎エリア)、閉会式は大阪市(大阪城ホール)。